

～ゆずり葉コミュニティ～

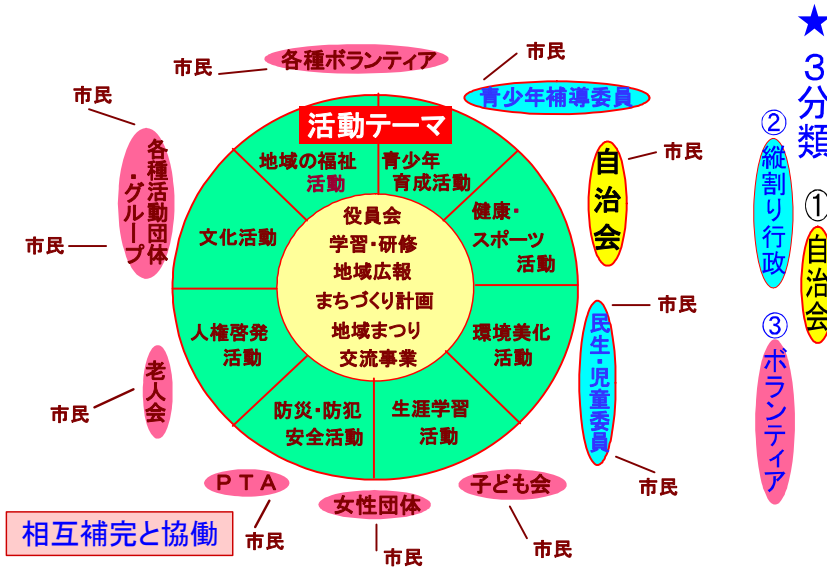
《 世帯数、人口、高齢化率、年少人口率 》
(H. 22. 1. 31現在)

設立	平成7年6月24日	《 宝塚市 》
世帯数	4,028世帯	94,942世帯
人口	9,191人	227,581人
高齢化率	35.0% (最高位)	21.5%
年少人口率	8.6% (最低位)	14.5%

《 道のりと展望 》

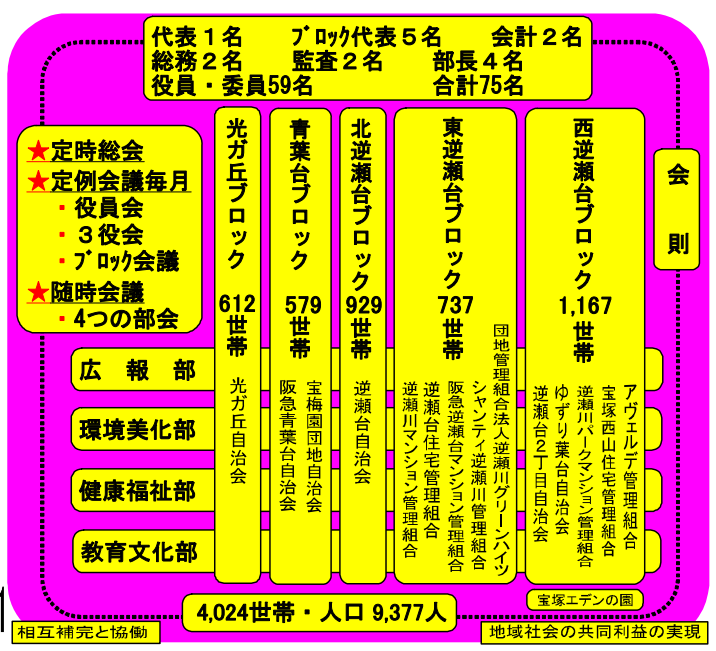
第1ステップ⇒設立、ふれあいイベント
 第2ステップ⇒コミュニティにおける生活課題への日常的取組み
 =環境美化・健康・子どもの育成・福祉など多様な視点
 第3ステップ⇒まちづくり計画と自治＝地域分権・地域経営

～ 地域の各種団体との位置づけ ～



相互補完と協働

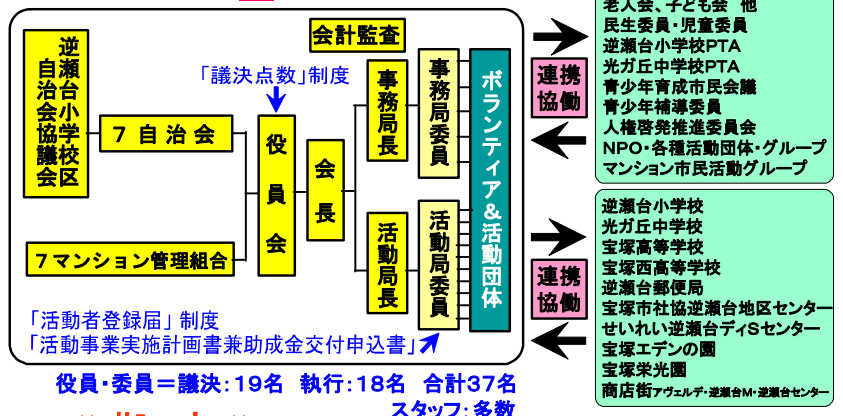
旧ゆずり葉コミュニティの組織図



H.20.3.31

ゆずり葉コミュニティの組織図

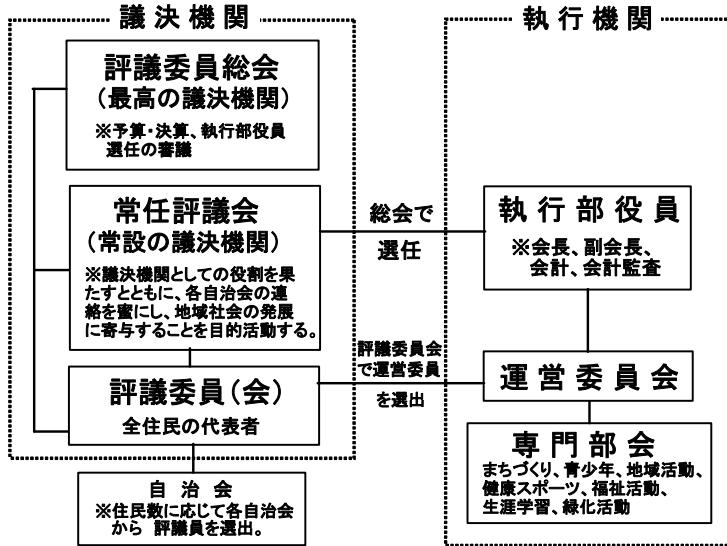
組織の一元化と機能化



《 拠点 》

1. 逆瀬台小学校余裕教室の有効活用: ゆずり葉コミュニティルーム&事務所
2. 逆瀬台サービスセンター: 市民の交流広場
3. 3自治会会館・集会所、8管理組合集会所

宝塚市内の各コミュニティ組織



◆ 財源確保について ◆

宝塚市⇒補助金交付要綱1～3号事業世帯数4ランク	386,000円
4号	170,000
社協⇒福祉コミュニティ支援事業	社協会費実績額 156,000
ふれあいいきいきサロン支援事業	申請月/12 110,000
歳末助け合い愛の持ち寄り運動	30,000
合計 852,000	

《随時》

阪神北県民局⇒県民交流広場事業	整備費(2年内) 10,000,000	13,000,000
走る県民教室	活動費(5年間) 3,000,000	
パワーアップ事業		25,000
まちなぎわいづくり事業		500,000
宝塚市⇒協働のまちづくり公募補助金(総額1/2)		10,000,000
		300,000

「スポーツクラブ21ひょうご」 13,000,000

自主財源 協賛金 @30円/世帯・年	110,000円
広報紙広告収入 @40,000円×4回/年	160,000
施設使用料 @100円/H	
イベント=事業別採算性(収支0)⇒販売収入、参加料徴収	

～ 地域住民への浸透、周知 ～

地域住民への合意形成を図るため双方向の情報・意見交換が出来る仕組み、情報の受信・発信に努めています。

コミュニティ事務所



★広報紙: B4版4面カラー印刷・年4回発行
4,500部/回

★イベントチラシ

★インターネット活用: ①ブログ(部門別広報・広聴用)、
②ホームページ③HP掲示板(総合的広報用)

★掲示板(12基)、ミズクポスト(3基)

組織活動には、過程(プロセス)が大切で
全地域のコミュニケーションを図っている。

定期(随時)会議(オープンな会議)
役員会、3役会、局会議
ネットワーク会議



地域づくり
住民主体のまちづくり

地方分権、市民自治の動き
など社会背景を受けて……

まちづくり計画
(おおむね各小学校区単位)

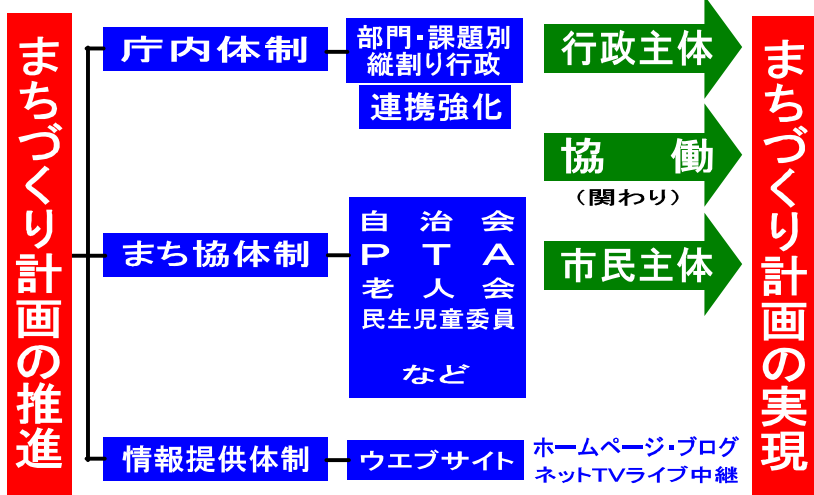
地域課題の解決、住民ニーズに
応じたまちづくりをめざす

第5次総合計画
前期基本計画 H.23～32
地域別計画 H.23～27
協働・役割分担、優先順位

総合計画
における
位置づけ
を受けて…

◆ 地域ごとのまちづくり計画実行組織 ◆

【自治能力のあるコミュニティの形成】



ブロック別まちづくり連絡会議 (地域創造会議)



阪神市民文化社会ビジョン

「新しい公」の時代をめざして

平成13年2月
阪神夢21委員会

—「新しい公」の時代をめざして—

新たな社会活動システムの構築

- 「新しい公」の担い手
- 人、モノ、金、情報

現政権の理念「新しい公共」を掲げる

第5次宝塚市総合計画

計画期間：2011～2020

協働による「新しい公共」の領域の拡充

- 「市民自治」の深化
市民が自分たちのまちについて考え、決めて、行動する。
- 「地域ごとのまちづくり計画」の推進



鳥取市日進地区のみなさま
ご静聴ありがとうございました

ゆずり葉コミュニティ

